

石川県における近世墓

和田 龍介（公益財団法人石川県埋蔵文化財センター）

はじめに

石川県では、約40箇所の近世墓及び関連遺構が確認されており（平成25年度現在、第1表）、本稿では石川県下の近世墓の発掘調査事例を、①寺院境内墓地、②農村部墓地に分けて紹介していく（野田山墓地及び庄田氏発表分を除く）。

1. 寺院境内墓地

金沢市経王寺遺跡、同宝町遺跡、同木ノ新保遺跡（久昌寺遺跡）、同金沢城下町遺跡（東兼六町5番地区）、珠洲市金峰寺墓地、同だいじょう寺畠遺跡がある。

経王子遺跡・宝町遺跡（金沢市小立野・宝町、第1図）

日蓮宗経王寺の旧墓地跡にあたる。加賀藩第3代藩主前田利常の生母寿福院により慶長10（1605）年に開かれ、寿福院と利常の庇護を受けた寺院である。平成9年に（財）石川県埋蔵文化財センターが実施した経王寺遺跡の発掘調査では、11基の墓坑と1基の灰塚（茶毘遺構群）が検出されている。

金峰寺墓地（珠洲市若山町、第1図）

曹洞宗金峰寺の墓地改修に伴い、珠洲市教育委員会が平成8年に発掘調査を実施した。寺は暦応元（1338）年開創と伝わり、歴代住職の墓域から5基の近世墓が検出された。長方形の板石で区画された墓域内に蔵骨器を埋設しており、肥前系陶器甕・土師質甕の蔵骨器が出土する。

金沢城下町遺跡（東兼六町5番地区）（金沢市東兼六町、第2・3図）

曹洞宗鶴林寺・雲竜寺の旧墓地跡であり、小立野台地東側の段丘崖を造成して営まれたものである。（公財）石川県埋蔵文化財センターが平成25・26年度に発掘調査を実施した。江戸時代中期以降に営まれた調査面では、越前焼甕を用いた甕棺（約30基）と、長方形棺の木棺（約40基）を検出した。火葬蔵骨器は、肥前系陶器甕に納められたものが数基確認できる。甕棺はすべて越前焼の大甕が用いられ、19世紀前半代のものが中心で、一部17世紀後半に遡るものもある。棺内には土人形・寛永通宝（六道銭）などが入る。木棺はほとんどが長方形棺で、座棺と考えられる。側板まで検出できたものでは、高さが約70cmであった。大半は鉄釘で造作されていたが、竹釘で造作されているものもあった。棺内副葬品は土人形をはじめ甕棺よりも多い印象がある。煙草盆が納められているものもあった。

木ノ新保遺跡（金沢市木ノ新保、第4図）

金沢城下町の北西端に位置し、墓域は絵図に残る屋敷割以前の、17世紀前半代に営まれていた。報告では、寺院境内墓地の可能性を指摘している。埋葬遺構は土葬墓20基、火葬墓7基、葬具埋納土坑1基が検出された。土葬墓は早桶（結桶・酒樽・曲物転用品含む）が19基、長方形棺（転用品？）1基である。

2. 農村部墓地

多様性があると考えられ、一律にこのカテゴリへ収めるべきかどうかという問題もある。現在のところ、墓域として発掘調査でおさえられているのは白山市乾遺跡（上層遺構）のみで、単独検出の近世墓は総覧できていない。また火葬遺構に付属する近世墓としては、加賀市敷地天神山遺跡、金沢市額谷遺跡、能登町上町和住下遺跡で検出例がある。

乾遺跡（白山市乾町）

手取扇状地の扇央部に位置する集落遺跡である。墓域は国道8号にほど近いB区で確認され、15世紀台から17世紀前半代まで営まれた168基の土坑群が墓坑である可能性が示された。埋葬施設や

上部構造等はまったく残っておらず埋葬形態は不明だが、土坑底面付近に礫原のような集石を持つものが多く見られる（石・坑内に被熱状況は見られない）。

直江ボンノシロ遺跡（金沢市直江町、第4図）

金沢市の北西部の後背湿地に営まれた遺跡で、区画整理事業によって移転した集落墓地の一部が調査対象地に含まれており、合計12基の近世土葬墓が検出された。年代のわかるものについては18世紀以降の所産と考えられる。「鍋被り葬」が2基確認された。

3. 石川県の近世墓

①城下町と農村

大名墓地を除き、石川県で発掘調査に至った近世墓は13遺跡を数える。うち城下町は5遺跡、農村は6遺跡、寺院境内2遺跡である。城下町の近世墓地はいずれも寺院境内墓地であり、城下町墓地の普遍性をうかがうことは難しいかもしれない。金沢城下町の都市墓といえる野田山墓地は、藩主から町民まで様々な階層の墓地を含んでおり、その形成過程や詣墓（家老・人持等上級武士層に見ることができる）など、城下の墓制を考える上で重要な墓地である。

一方で農村墓地は、火葬場+墓地というパターンと、墓地のみが検出されるパターン、火葬墓のみの3パターンが存在することが予測できる。これは火葬と土葬という葬法による差異を反映するものといえ、火葬を通有とする浄土真宗の地域的あり方との関連性が今後の課題といえる。

②寺院境内墓地における埋葬施設の変遷

17世紀前半：早桶主体（木ノ新保遺跡）

17世紀後半～18世紀：早桶主体、木棺が定量用いられる（久昌寺遺跡）。17世紀末までには越前焼甕棺が用いられ始める（野田山墓地、兼六町5番地区）。

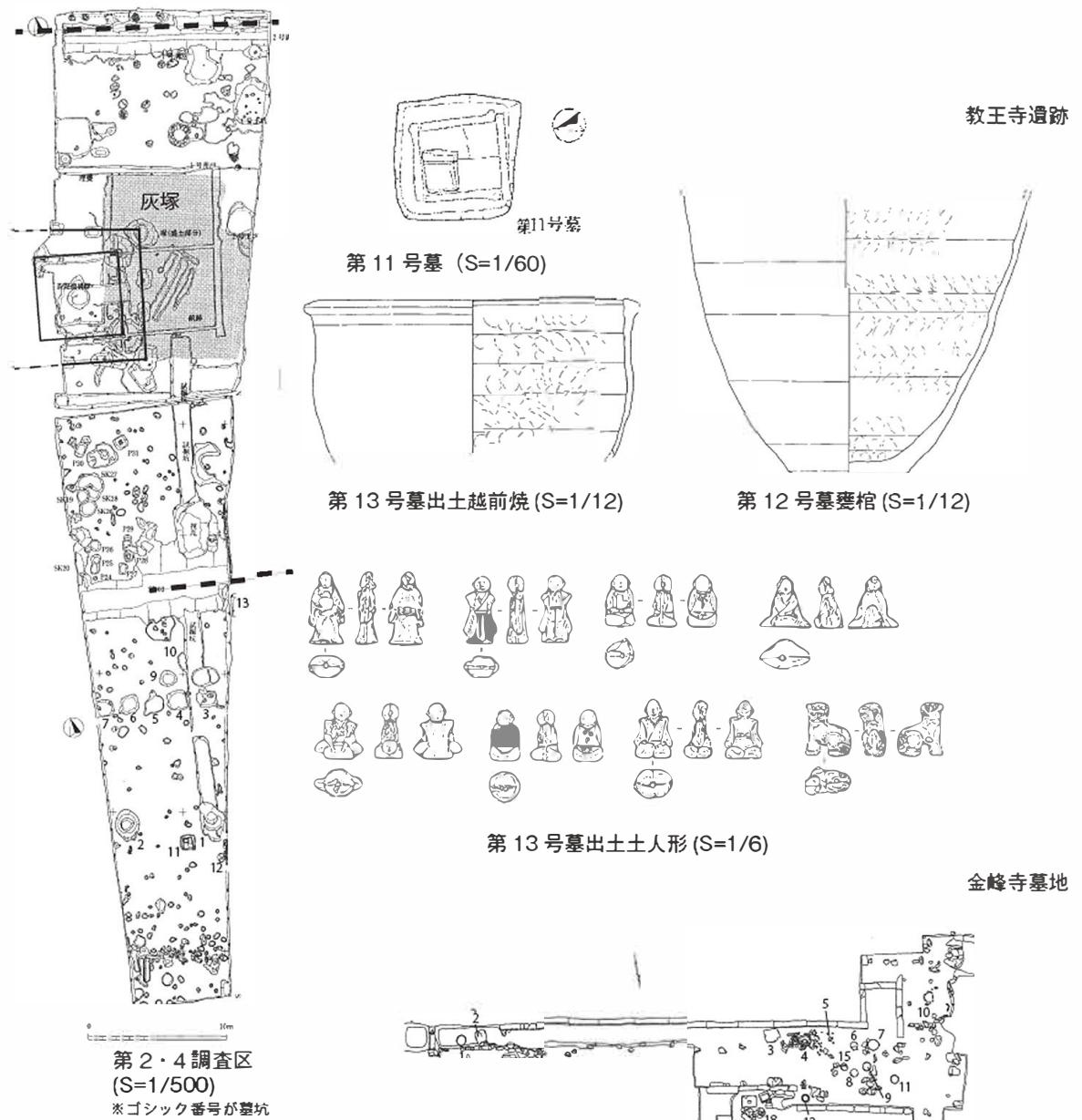
19世紀～：木棺主体、早桶激減（久昌寺遺跡）、甕棺は選択的に用いられるか。

火葬墓は有機質容器（曲物等）と蔵骨器、容器なしの3通りが確認できるが、変遷等は不明である。火葬そのものは17世紀前半にすでに認められ、19世紀段階では増加する傾向も見られるが、依然主体は土葬と考えられる。

城下町寺院境内墓地における甕棺は近世を通じて越前焼が用いられているのが特徴である。火葬蔵骨器については越前焼の他に、肥前系陶器甕を用いているものもある。土師質系の蔵骨器については、年代の特定が難しく、今後の課題としたい。

【参考文献】

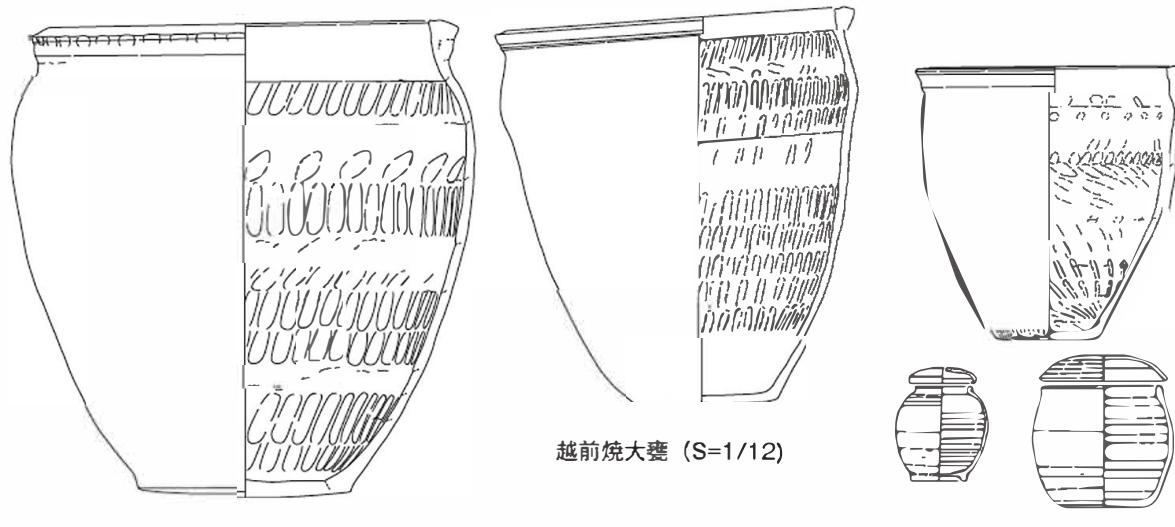
- 江戸遺跡研究会編『墓と埋葬と江戸時代』（吉川弘文館 2004）
佐藤弘夫『死者のゆくえ』（岩田書院 2008）
谷川章雄「江戸の墓制・葬制の考古学的研究」（早稲田大学学位論文（博士）2010）
柿田祐司・田村昌宏・滝川重徳「九泉」（財団法人石川県埋蔵文化財センター『石川県埋蔵文化財情報 創刊号』1999）
同「九泉Ⅱ」（財団法人石川県埋蔵文化財センター『石川県埋蔵文化財情報 2号』2000）
同「九泉Ⅲ」（財団法人石川県埋蔵文化財センター『石川県埋蔵文化財情報 3号』2001）
増山仁「金沢城下における近世墓－久昌寺墓地を中心として－」（関西近世考古学研究会『西日本近世墓の諸様相 第9回関西近世考古学研究大会発表要旨』1997）
石川県立埋蔵文化財センター『敷地天神山遺跡』1987
同『金沢市額谷遺跡』1998
(財)石川県埋蔵文化財センター『金沢市 経王寺遺跡』2002
同『金沢市 木ノ新保遺跡』2002
同『珠洲市 だいじょう寺畠遺跡』2005
同『白山市 乾遺跡』2010
金沢市『野田山墓地』2003
同『石川県金沢市 直江南遺跡・直江ボンノシロ遺跡・直江ニシヤ遺跡・直江西遺跡』2012



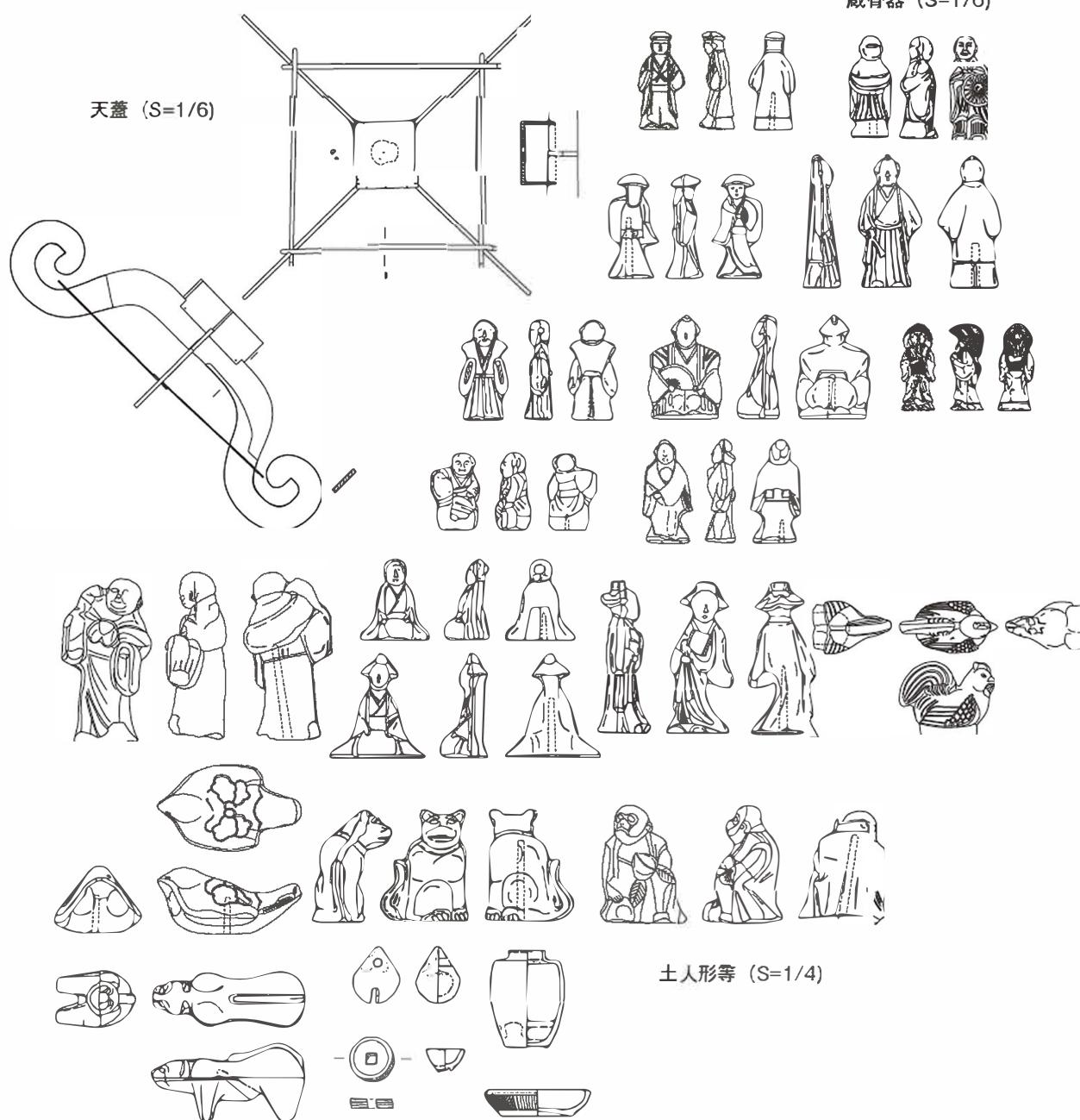
第1図 経王寺遺跡、金峰寺墓地



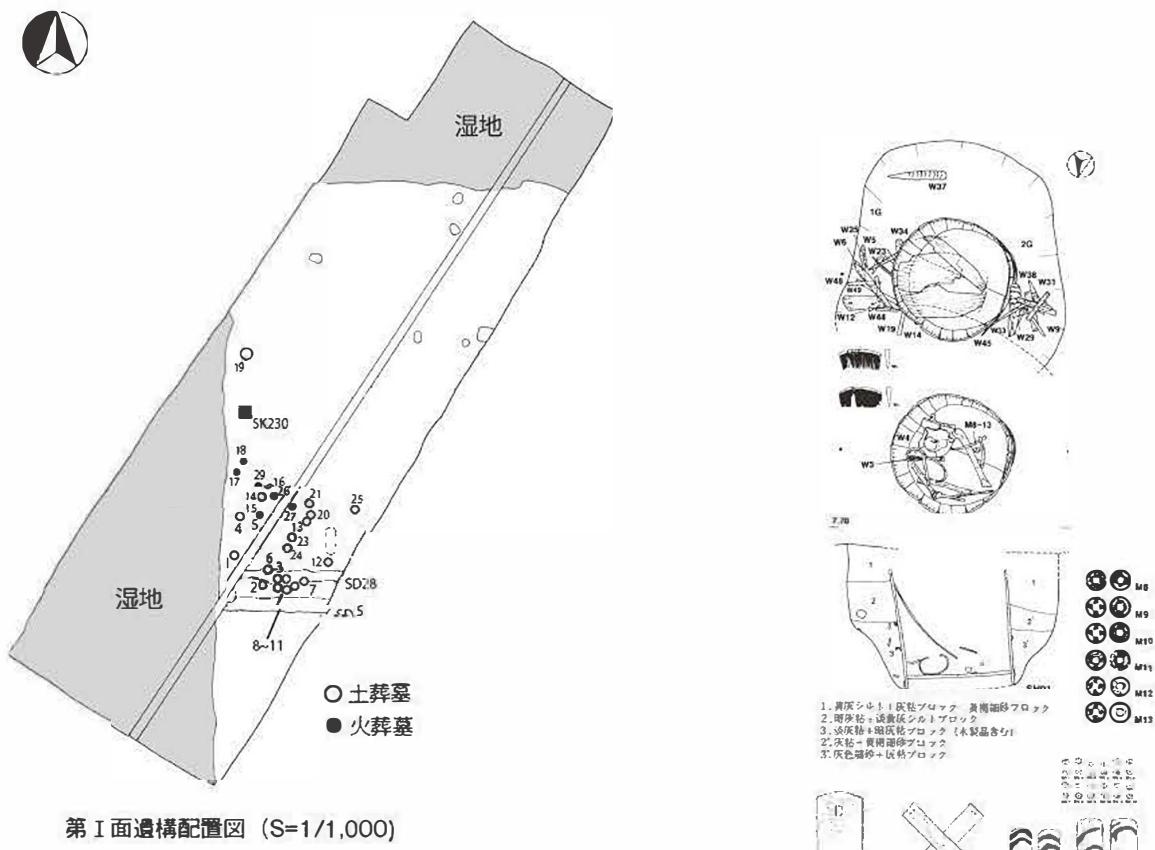
第2図 金沢城下町遺跡（東兼六町5番地区）鶴林寺調査区



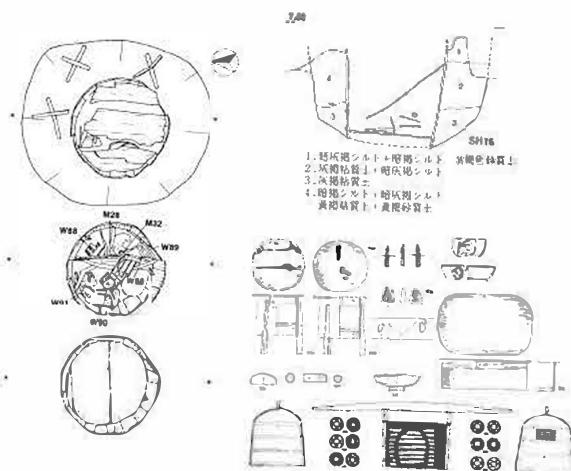
戚骨器 (S=1/6)



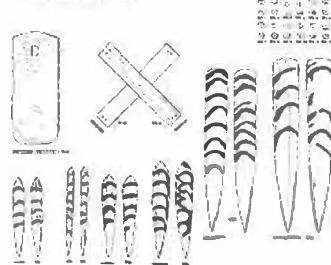
第3図 金沢城下町遺跡（東兼六町5番地区）出土遺物



第Ⅰ面造構配置図 (S=1/1,000)

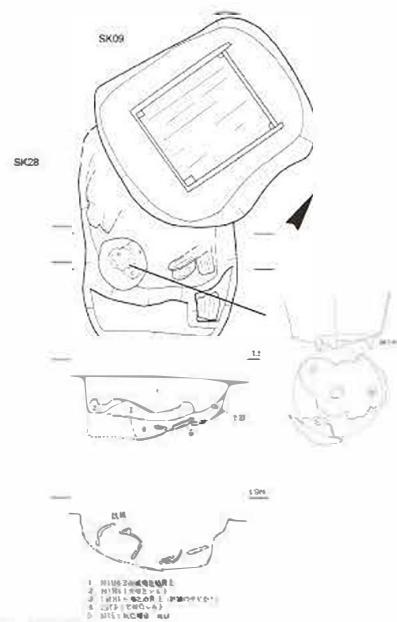


SH016 (遺構 1/40、遺物は任意)



SH01 (遺構 1/40、遺物は任意)

直江ボンノシロ遺跡



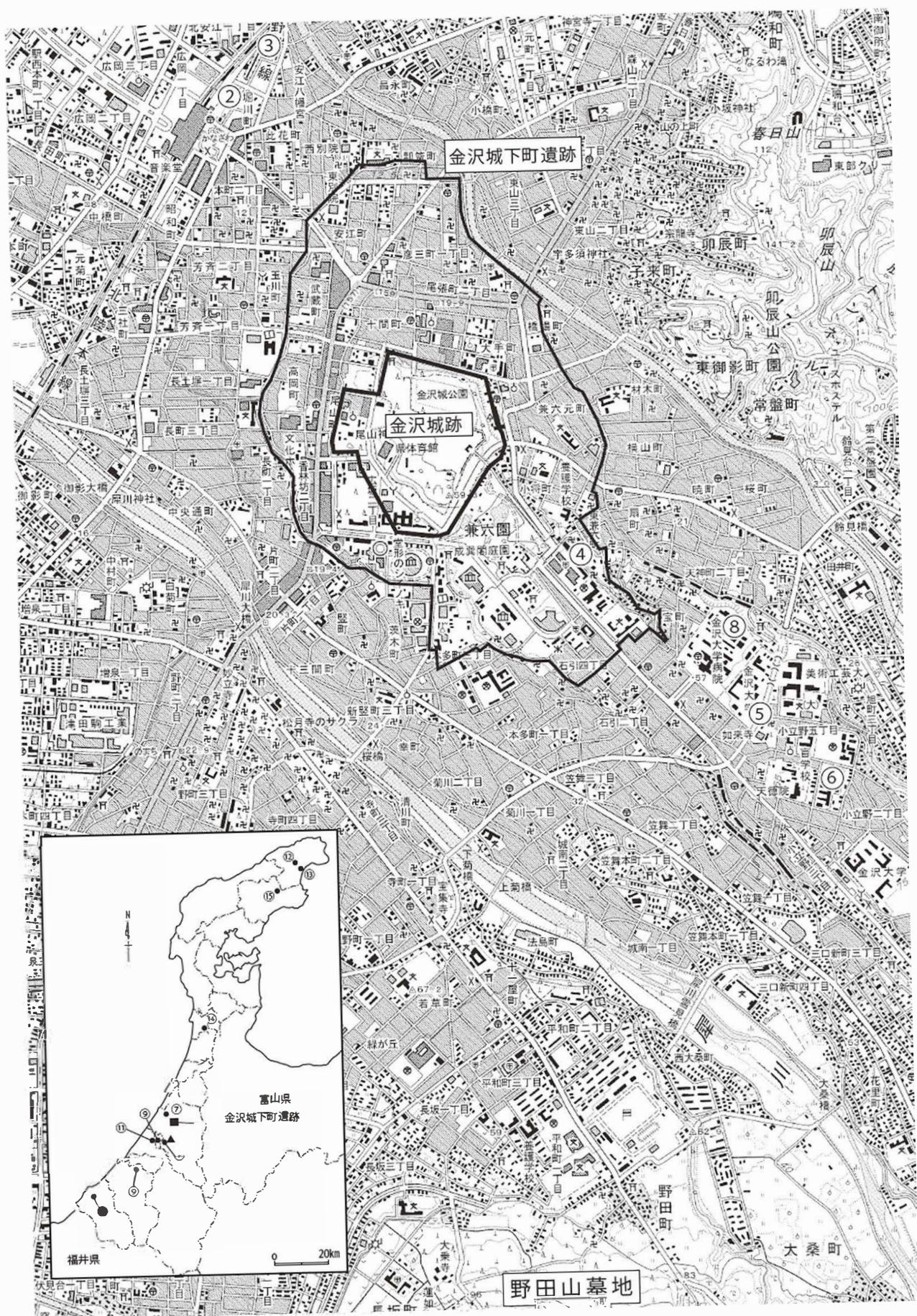
SK17 瓷棺 (S=1/12)

第4図 木ノ新保遺跡・直江ポンノシロ遺跡

第1表 石川県の近世墓遺跡一覧

	遺跡番号	遺跡名	市町名	所在地-詳細	年代	火葬遺構	土葬墓	火葬墓	発掘調査等履歴	備考
		野田山墓地	金沢市	野田町	17世紀～	?	○	○	2001年度市立会調査、2004～2011年度市確認調査（前田家・加賀八家墓所）	金沢城下町の都市墓。加賀藩主墓所以降、18世紀には家臣墓・町人墓が形成されていく
①	104700	額谷遺跡	金沢市	額谷町	19世紀～	1	0	2	1995年度県（埋文七）発掘調査、1998・2000年度県（財埋）発掘調査	幕末以降の火葬場及び付属の火葬墓
②	129001	木の新保遺跡	金沢市	木ノ新保・堀川町・北安江	17世紀前半	0	20	7	1993年度県（埋文七）	寺院境内墓地か
③	129002	木ノ新保遺跡	金沢市	木ノ新保、堀川町、北安江	17世紀後半～	0	209	30	94～97年度市発掘調査	旧「久昌寺遺跡」、寺院境内墓地2面の墓地遺構を確認
④		金沢城下町遺跡（東兼六町5番地区）	金沢市	東兼六町	17世紀後半～	0	○	○	2013～14年度県（埋文七）	寺院境内墓地
⑤	132000	経王寺遺跡	金沢市	小立野・宝町	17世紀～	1	1	9	1997年度県（埋文七）・1998年度県（財埋）発掘調査	旧経王寺墓地、火葬遺構は藩主一族クラスの奈良遺構及び灰塚
⑥	132100	小立野四丁目遺跡	金沢市	小立野・宝町	17世紀中葉			○	2010年度市発掘調査	旧天徳院前田家墓地、4代藩主光高墓。野田山へ移転
⑦	144100	直江ポンノシロ遺跡	金沢市	直江町	18世紀～	0	6	0	2009・10年度市発掘調査	農村墓地、鍋被り葬2基
⑧	158300	宝町遺跡	金沢市	宝町			○	?	1997～2002・04～06・08・09・11年度その他（金沢大学）発掘調査	旧経王寺墓地
⑨	1202005	三日市A遺跡	野々市市	三日市町・二日市町	近世前半	0	4	0	2001～10年度町、11年度市、06・07年度県（財埋）発掘調査	15世紀末の火葬墓17基、近世墓4基のうち3基は鍋被り葬
⑩	307100	前田利常公灰塚	小松市	河田町		1	0	0	1990年度県（埋文七）発掘調査	1658年前田利常没後茶毎に付された火屋跡地。遺骨は高野山天徳院に納められる
⑪	611300	敷地天神山遺跡	加賀市	大聖寺岡町・敷地	18世紀～	1	0	10	1979～82年度県（埋文七）、1981年度市発掘調査	石組み火葬炉
⑫	641200	四ツ墓	加賀市	大聖寺地方町						
⑬	904500	乾遺跡	白山市	乾町	17世紀前半～中頃		?	?	1990～91年度県（埋保）、92年度市発掘調査	15世紀代から継続する墓坑群。火葬か
⑭	262500	熊渕折形中世墓群	七尾市	熊渕町						2003年度県教委分布調査
⑮	506100	だいじょう寺畠遺跡	珠洲市	若山町大坊	中世後半～近世	○	○	○	2001年度県（財埋）発掘調査	住職墓域を検出
⑯	506200	だいじょう寺跡	珠洲市	若山町大坊						
⑰	506300	小龍寺跡	珠洲市	若山町宇都山						
⑱	513500	正院館薬師遺跡	珠洲市	正院町正院					1989～99年度市分布調査	
⑲	516902	大宮司畠中世墓	珠洲市	三崎町粟津					1989～99年度市分布調査	
⑳	518802	寺家谷墓地	珠洲市	宝立町春日野						
㉑	519002	日枝神社横遺跡	珠洲市	宝立町柏原					1989～99年度市分布調査	
㉒	519702	金峰寺墓地	珠洲市	宝立町金峰寺	17世紀後半～	0	0	5	1996年度市確認調査	住職墓を調査
㉓	520202	海月庵墓地	珠洲市	真浦町					1989～99年度市分布調査	
㉔	520302	友貞家墓地	珠洲市	仁江町					1989～99年度市分布調査	
㉕	521602	曹源寺墓地	珠洲市	長橋町					1989～99年度市分布調査	
㉖	521902	未光家墓地	珠洲市	長橋町						
㉗	522202	頼兼墓地	珠洲市	大谷町					1989～99年度市分布調査	2ヶ所に分かれれる
㉘	523702	願成寺墓地	珠洲市	若山町延武					1989～99年度市分布調査	石列方形区画
㉙	524002	昌樹寺墓地	珠洲市	若山町古蔵					1989～99年度市分布調査	
㉚	524502	高照寺墓地	珠洲市	上戸町寺社					1989～99年度市分布調査、2002年度県（財埋）発掘調査	調査では墓域は確認できず
㉛	525702	野々江城山墓地	珠洲市	野々江町					1989～99年度市分布調査	
㉜	526105	正院ショウズ遺跡	珠洲市	正院町正院					2001年度市試掘調査	
㉝	527302	尋江院墓地	珠洲市	三崎町粟津					1989～99年度市分布調査	
㉞	527702	寺家安養寺遺跡	珠洲市	三崎町寺家					1989～99年度市分布調査	高勝寺(廃寺)僧侶他の墓地
㉟	528302	守禪庵墓地	珠洲市	馬縄町					1989～99年度市分布調査	
㉟	529404	狼煙寺屋敷遺跡	珠洲市	狼煙町					1989～99年度市分布調査	
㉟	532000	旧大矢家墓地	珠洲市	熊谷町					1989～99年度市分布調査	五輪塔残欠
㉟	712700	太田B遺跡	羽咋市	太田町	近世	1	0	0	2003～05年度県（財埋）発掘調査	三昧の片付け跡か
㉟	1801500	地蔵堂中世墓地	穴水町	志ヶ浦						毎年10月15日に地蔵供養
㉟	1819700	小又和泉墓	穴水町	小又						
㉟	1819800	小伊勢坂墓	穴水町	平野						
㉟	1919100	宮犬墳墓群	能登町	宮犬						径1～3m、高さ0.5～1m、円墳状6基以上
㉟	1911200	上町和往下遺跡	能登町	上町	17世紀後半～	1	0	10	1993・94年度県（埋文七）発掘調査	火葬人骨

*出典「石川県遺跡・文化財地図」(平成25年度版)。「時代」に近世、「遺構種別」に墓があるものを拾った。火葬遺構(三昧等)については、近世墓関連遺構として捕つた。



第5図 石川県・金沢城下近世墓位置図 (S=1/1,000,000, 25,000)